

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社 三和工場

(2) 事業所の所在地

広島県 神石郡 神石高原町 上 1333-1

(3) 業種

綿・スフ織物業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成28（2016）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から平成33（2021）年度までの5年間とする

### 3 計画の基本的な方向

#### 1、基本的な考え方

当社は、エネルギー使用のソフト、ハード面からの合理化や、リサイクルを念頭においた廃棄物削減活動を実施し、環境負荷の削減を企業活動の一環ととらえ社内に専門の委員会を設けて、継続的な改善活動を続ける体制を構築、維持していきます。

#### 2、方針

- ① 全社員を巻き込み、原単位削減活動を続け、省エネルギーを進める
- ② 設備購入、更新時には省エネ品、トップランナー品を使用する
- ③ 廃棄物の量を抑制し、廃棄するときは、まずリサイクルを調査、検討する

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成28年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素	燃料の使用		2007	
	他人から供給された電気の使用		9350	
合 計			11356	

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成28年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素	繊維くずの焼却		0.16	
HFC PFC SF <sub>6</sub>				
合 計				

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100    削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：百万m<sup>2</sup>

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 2 8 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 3 3 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	11356	58.3	194.7	5.0	12024	65.0	185.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は原単位ベース年1%の削減率 電力排出係数は0.555t-CO <sub>2</sub> /kWh (中電の調整後)を使用						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100    原単位(c) = (a) / (b)    原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・ボイラの燃料転換率を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロー率の低減</li> <li>・負荷率改善</li> <li>・給水配管の保温による給水温度の低下防止</li> <li>・ドレン回収率の向上による給水温度の上昇</li> <li>・温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換（重油⇒LPG）</li> </ul>
2	エネルギー原単位	・エネルギー原単位を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調最適運転管理</li> <li>・定期的なエア漏れ測定の実施</li> <li>・電動機制御の適正化</li> </ul>
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

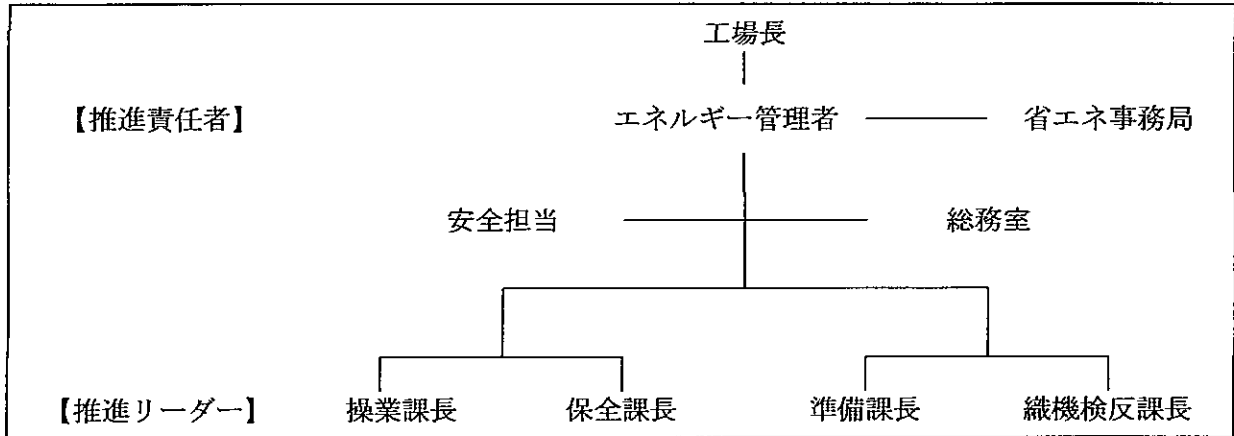
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出削減	・コピー用紙5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙裏面再利用</li> <li>・プロジェクタの使用で資料の削減</li> </ul>
2	リサイクル率向上	・廃棄物リサイクル率5%向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残糸のリサイクルを実施</li> <li>・新規リサイクル業者の調査・開拓</li> </ul>
3	清掃奉仕	・1回/年以上目標	・工場周辺の清掃奉仕

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

省エネ検討会を毎月開催

原単位で数値目標を設定し、電気、熱の変化を確認、悪化原因追及、対策を実施

廃棄物の量の増減、原因を確認

年間データで前年と比較評価する

### (3) 計画書等の公表

- ・事業所へ備え付けて閲覧する